

2022年度 事業報告

専務理事 西岡 令子

I. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業（公益目的事業）

事業内容	
1. 看護職の継続教育の推進	
1) 「看護の将来ビジョン」達成に向けて、質の高い看護人材を育成する教育プログラムの企画・実施・評価	教育計画冊子の作成、全会員に配付 教育計画をホームページに掲載 教育研修実施録の作成
2) 研修内容	全部で67研修と学会1の68コースを実施 受講・参加延べ人数4,733名（詳細は一覧表参照）
(1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	(1) 21研修 計1,479名受講
(2) ラダーと連動した継続教育	(2) 11研修
①看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）	①10研修 計924名受講
②助産師実践能力習熟段階（CLOCMip®）	②1研修 計26名受講
(3) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	(3) 6研修 計491名受講
(4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	(4) 13研修 計933名受講
(5) 資格認定教育	(5) 7研修
①認定看護管理者教育課程ファーストレベル	①春期6/20～7/27（22日間）58名修了
②ファーストレベル公開講座	②2研修 計16名受講
③認定看護管理者教育セカンドレベル	③10/13～12/10（32日間）28名修了
④セカンドレベル研修修了者のためのオープン講座	④1名受講
⑤セカンドレベル公開講座	⑤2研修 計9名受講
(6) 看護基礎教育を充実させるための継続教育	(6) 8研修 計182名受講
(7) 委員会活動と連動した交流会・研修	(7) 13交流会・研修 計519名参加・受講
2. 奈良県受託事業に関する研修	上記2) 研修内容の再掲
1) 看護職員資質向上推進事業	
(1) ①実習指導者講習会（一般分野）	(1)①8/1～9/8（うち28日間）75名修了
②実習指導者講習会（特定分野）	②9/28～10/12（うち7日間）17名修了
(2) 看護教員継続研修	(2)7/30～9/10（うち3日間）計84名受講
2) 新人看護職員研修事業	
(1) 新人看護職員集合研修	(1) 4/27～1/19（うち5日間）113名受講
(2) 実地指導者研修	(2) 10/6～11/2（うち4日間）102名受講
(3) 研修責任者・教育担当者研修	(3) 10/6～1/20（うち3日間）61名受講
3) 訪問看護推進研修事業	
(1) 奈良県訪問看護師養成講習会～訪問看護eラーニング活用～	(1) 7/6～1/25（eラーニング・集合研修4日間）24名修了（25名受講） 延べ158名受講
(2) 精神科訪問看護研修	(2)7/29～8/6、11/4～11/12のうち各3日間 8月：21名受講 修了者26名 11月：28名受講 修了者25名 9/15～9/30（うち3日間）56名受講 修了者55名
4) 看護職員認知症対応力向上研修	

<p>5) 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成事業</p> <p>(1) 重症患者対応研修 (演習)</p> <p>(2) 軽症～中等症患者対応研修</p> <p>(3) 軽症～中等症患者対応研修 (自宅療養者)</p> <p>3. 日本看護協会 DVD 研修</p> <p>1) 認知症高齢者の看護実践に必要な知識</p> <p>2) 災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～</p> <p>4. 奈良県看護学会</p>	<p>11/15～2023/2/28 Web 研修</p> <p>(1) 1/28、2/18、3/4 計 50 名受講 47 名修了</p> <p>(2) 574 名受講 362 名修了</p> <p>(3) 110 名受講</p> <p>6/15～16 74 名受講</p> <p>11/24～25 24 名受講 修了者 24 名</p> <p>12/3 奈良県看護研修センター</p> <p>テーマ「頑張るナースを応援する NARA～ワタシの心・やりがいをもる～」</p> <p>参加者 68 名 (オンライン 45 名含む)</p> <p>発表演題 口演 13 題</p>
---	---

II. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益目的事業)

事業内容	
<p>1. ナースセンター事業 (奈良県受託事業)</p> <p>1) ナースバンク事業 無料職業紹介所 ナースセンター</p> <p>(1) NCCS システムによる登録・管理</p> <p>(2) 求人・求職者に対する相談及び紹介・連絡調整</p> <p>(3) 求人・求職に関する情報提供</p> <p>(4) 求人・求職動向の把握</p> <p>(5) 離職時等の届出制による登録推進と潜在看護職の把握</p> <p>(6) 「病院ガイド」作成・協会ホームページ掲載</p> <p>(7) 出張相談</p> <p>① 奈良県女性センター (奈良県福祉人材センター共催)</p> <p>② ハローワーク奈良</p> <p>③ ハローワーク大和高田</p> <p>④ ハローワーク大和郡山</p> <p>(8) ナースセンター事業運営協議会</p>	<p>44 ページ参照</p> <p>相談日: 月～金曜日 9:00～16:30</p> <p>場所: 奈良県看護研修センター</p> <p>相談方法: 電話・メール・来所</p> <p>看護学生、看護職の就職相談等の活用</p> <p>月 1 回 (第 4 水曜日) 13:00～16:00</p> <p>回数: 10 回</p> <p>・就業相談 2 名・進路相談 0 名・求人 7 件</p> <p>月 1 回 (第 1 月曜日・第 2 土曜日) 13:00～17:00</p> <p>回数: 24 回</p> <p>・就業相談 41 名・進路相談 1 名</p> <p>月 2 回 (第 2・4 火曜日) 13:00～17:00</p> <p>回数: 24 回</p> <p>・就職相談 11 名・進路相談 0 名・求人 0 件</p> <p>月 1 回 (第 3 月曜日) 13:00～17:00</p> <p>回数: 12 回</p> <p>・就職相談 18 名・進路相談 0 名・求人 0 件</p> <p>年 1 回</p> <p>月日: 2023 年 3 月 13 日 14:00～16:00</p> <p>場所: 奈良県看護研修センター</p> <p>リモート会議</p> <p>委員: 病院看護管理者協議会・訪問看護ステーション協議会・老人福祉施設協議会・看護学校教務主任協議会・奈良県看護協会・県・</p>

(9) 他機関との連携

①会議

- ・人材確保推対策（福祉分野）推進協議会
- ・ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議

(10) 他団体との連携

① 日本看護協会中央ナースセンター

ナースセンター事業担当者会議

ナースセンター事業相談員研修

＊都道府県ナースセンター相談員向けキャリアコンサルティング

＊労働契約等解説セミナー

＊職業安定法の改正と事業の運営ルールに関するオンラインセミナー

② 近畿府県ナースセンター

近畿地区看護協会・人材確保定着担当者会議

③公共職業安定所

- ・ハローワーク連携事業（奈良・大和高田）
- ・求人情報の提供
- ・事業周知チラシ掲示依頼
- ・求人情報誌の配布
- ・看護職セミナー（ハローワーク大和高田主催）
- ・就職応援フェア

④奈良県福祉人材センター（出張相談）

- ・福祉の就職総合フェア

⑤奈良県女性センター

- ・求人情報誌の配布
- ・事業周知チラシ情報配布

⑥奈良県医療勤務環境支援センター

(11) 看護職員就業状況調査

調査のねらい：看護職の働き方改革推進や就労支援を行うために活用する。

調査集計を各病院に報告：2023年1月

(12) 新型コロナウイルス感染症に関すること

- ①e ナースセンター登録者への復職への声掛けを発信
- ②看護協会ホームページに随時情報掲載
- ③各市町村の新型コロナウイルスワクチン予防接種関連の業務の看護職員を募集
- ④厚生労働省の運営する以下
 - ・医療機関等情報支援システム（G-MIS）

ナースセンター

月日：5月27日 奈良労働局

月日：6月15日 10:00～11:30

場所：奈良労働局

委員：奈良労働局、ハローワーク奈良、大和高田・県、ナースセンター

月日：5月20日 web 開催

月日：8月26日 web 開催

月日：11月2・24日 web 研修

月日：2023年1月18・25・26日 web 研修

月日：2023年1月13・19・20日 web 研修

月日：2023年2月14日 web 研修

月日：2023年2月15日 web 開催

求人0名 求職者25名 就業者8名
県内3カ所のハローワークより月1～2回
年5回
月1回

月日：2023年2月3日

参加数：12名/相談者数：1名

月日：2023年3月7日

場所：奈良県コンベンションセンター

相談者数：0名

月日：2023年3月12日

場所：奈良県コンベンションセンター

相談者数：0名

年12回

プラチナナース研修会講師派遣依頼

時期：8月

奈良県内74病院勤務の常勤看護職の就業状況（離職率）調査

<ul style="list-style-type: none"> ・医師・看護師・医療人材の求人情報サイト「医療のお仕事 Key-Net」 ・新型コロナウイルス感染症に係る保健所支援のための人材確保として看護職を登録する人材バンク（IHEAT）創設 <p>新型コロナウイルスに関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業 研修用ビデオを用いて研修会を開催 ・新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止相談事業 	<p>47 ページ参照 受講者：12 名 相談件数 のべ 18 件</p>
<p>(13) 事業実施報告</p> <p>2) 看護職員復職応援事業（奈良県受託事業）</p> <p>(1) 看護職員復職支援研修（講義・病院、施設等実習）</p> <p>(2) 採血演習（シミュレーターを使用）</p> <p>2. ナースセンター機能強化事業（奈良県受託事業）</p> <p>1) 看護師等免許保持者の届出制度「とどけるん」 離職時等の届出支援・管理</p> <p>2) 届出制度 PR</p> <p>3) プラチナナース研修</p> <p>4) 進路・キャリア UP 相談</p> <p>(1) 看護学校進学ガイダンス</p> <p>(2) 看護職の進学や看護職を目指す方からの相談・問合せ 対応、情報提供</p> <p>(3) 看護職をめざす方へのパンフレット作成 「看護への道」・「看護専門学校等募集要項」</p> <p>(4) 行政、大学、企業等の看護学生の就職相談会の協力</p> <p>① 畿央大学就職セミナー「看護発祥の地」奈良で看護の 第一歩を踏み出そう！（Web 就職説明会）</p> <p>② マイナビ看護学生就職セミナー</p> <p>③ 奈良県立医科大学医学部看護学科 就職ガイダンス</p> <p>5) 看護職メンタル相談事業</p> <p>(1) 相談窓口（予約制）</p> <p>6) 広報活動</p> <p>(1) 看護学生にナースセンターを PR（講義）</p> <p>(2) 求人情報発行</p> <p>(3) 看護協会広報誌「看護なら」掲載（ナースセンターだより）</p> <p>(4) 出張相談案内チラシ</p> <p>(5) 看護協会ホームページへ事業紹介・情報提供</p> <p>(6) ポスター、チラシ作成・掲示依頼</p>	<p>県、奈良労働局、中央ナースセンター</p> <p>46 ページ参照 46 ページ参照</p> <p>46 ページ参照 公共機関・ミニ面接会・看護学校・奈良県 病院看護管理者協議会・奈良県看護学教育 協議会・看護協会会員・病院、施設等に郵 送</p> <p>47 ページ参照</p> <p>コロナ禍のため中止 出張相談時等</p> <p>1600 部/年 1 回</p> <p>月日：12 月 10 日 畿央大学 3 回生 90 名 講演：飯尾美和 月日：2023 年 3 月 25 日 場所：奈良県コンベンションセンター 講演：飯尾美和 参加者：学生 42 名 相談者 0 名 月日：4 月 1 日 講演：飯尾美和 参加者：学生約 80 名 46 ページ参照</p> <p>奈良県内看護学校：4 校来校（内 1 校 web） 対象者：3 年生等看護学生・教員 参加者：学生 132 名・教員 2 名 他看護学校には、ナースセンターのチラシ、 リーフレット郵送 年 12 回 年 3 回</p> <p>配布先：病院・施設、公共機関、商業施設等</p>

(7) 県ホームページ等情報提供 ・ナースセンター事業紹介	
(8) 看護協会の研修（実習指導者講習会・ファーストレベル セカンドレベル）	月日：6月20日・8月1日・9月28日・ 10月13日
3. 「看護の心」啓発・普及事業	
1) 看護の出前授業：「みんなで話そう-看護の出前授業」 奈良県看護協会 主催 「看護の日・看護週間」事業（厚生労働省・日本看護協 会主催・文部科学省後援）	45 ページ参照
2) ふれあい看護体験	コロナ禍のため中止
4. 各賞候補者の推薦	
1) 叙勲	春・秋 各1名
2) 奈良県看護功労者知事表彰	月日：5月12日 被表彰者：23名、(保健師2名、助産師1名、 看護師18名、准看護2名)
3) 日本看護協会会長表彰	月日：6月8日 被表彰者：2名
4) 奈良県看護協会会長表彰	被表彰者：8名 月日：6月18日 場所：奈良県看護協会人研修室 被表彰者：対象者なし
5) 都道府県医療功労賞表彰	被表彰者：1名
6) 奈良のお薬師さん大賞表彰	月日：12月17日 場所：奈良県コンベンションセンター
5. 看護労働環境改善推進委員会	29 ページ参照
6. 医療安全検討委員会	31 ページ参照

III. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業（公益目的事業）

事業内容	
1. 保健師職能委員会	25 ページ参照
2. 助産師職能委員会	26 ページ参照
3. 看護師職能Ⅰ委員会	27 ページ参照
4. 看護師職能Ⅱ委員会	28 ページ参照
5. 地区支部委員会	33 ページ参照
6. 業務委員会	30 ページ参照
7. 学校看護師交流会開催	開催日：8月6日、参加者：9名
8. 図書室の管理	
1) 図書文献サービス	
(1) 図書室資料の充実	蔵書数：専門図書 5,444 冊 一般図書 165 冊 雑誌 30 種類 視聴覚資料 232 本
(2) 収集資料の受け入れ整備と所蔵資料目録の運営管理	
(3) 看護文献検索・情報提供サービスの向上	インターネットによる検索案内： 検索リンク先 10 施設 来室利用者：会員 26 名、非会員 0 名 他、長期間研修受講者（実習指導者講習会、 ファーストレベル・セカンドレベル）
2) 図書室の利用促進	

貸出：図書 62 冊、 視聴覚資料 0 本
文献複写：利用枚数 558 枚

IV. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容	
<p>1. 地域住民への看護サービス</p> <p>1) 出前研修</p> <p>2. 看護の日イベント</p> <p>1) 一日まちの保健室（奈良・南和地区支部開催） （天理医療大学協働開催）</p> <p>3. 訪問看護事業</p> <p>1) 訪問看護事業に関すること</p> <p>(1) 安心・安全な訪問看護サービスの提供</p> <p>①質の高い訪問看護サービスの継続提供</p> <p>②研修会・講習会の参加</p> <p>③教育機関としての環境整備</p> <p>・看護学生・病院看護師・地域連携に関わる職種の実習受け入れと教育指導</p> <p>・橿原市内訪問看護ステーションの教育ステーションとしての活動</p> <p>④すてーしょんだよりの発行</p> <p>(2) 健全な事業運営</p> <p>①訪問看護ステーション運営・管理</p> <p>②やりがいのある職場づくりの醸成</p> <p>(3) 近畿地区看護協会立訪問看護ステーション交流会開催</p> <p>2) 居宅介護支援事業に関すること</p> <p>(1) 質の高いケアマネジメントの提供</p> <p>①ケアプランの作成、評価・給付管理</p> <p>②サービス担当者会議への出席</p> <p>③研修会・講習会の参加</p> <p>(2) 行政及び他事業所との連携</p> <p>(3) 橿原市在宅医療・介護連携相談支援事業</p> <p>3) 訪問看護総合支援センター事業に関すること</p> <p>(1) インターンシップ事業</p>	<p>8月31日、9月16日、11月25日</p> <p>コロナ禍のため中止</p> <p>10月15日 相談・資料配布等</p> <p>利用者・家族の満足度調査実施（11月） 事例検討会 コロナ禍のため中止 研修・講習会：123回 受講数：253名 講師派遣依頼10回 講師実績数：5名 県喀痰吸引等研修講師派遣：1回 1名</p> <p>実習受入れ：</p> <p>・看護学校（5校）実習生（延べ人数485名） ・大学院 1名/延べ15日） ・在宅看護特別プログラム（1名/延べ10日） ・病院看護師（35名/延べ64日）</p> <p>・連携会議（5回）</p> <p>年3回</p> <p>・24時間緊急時対応体制の整備 定例会議</p> <p>・所長会議 12回</p> <p>・医療安全対策、記録、業務委員会（各委員会10回開催）</p> <p>・感染用BCP作成</p> <p>・職場環境、福利厚生の見直し</p> <p>月日：2023年2月25日 場所：奈良県看護協会（Web開催） 出席：4名</p> <p>・ケアプラン数（1,573人）</p> <p>・必要時</p> <p>・研修・講習会：22回 受講数：30名</p> <p>・橿原市ケアマネジャー連絡会へ参加（3回）</p> <p>・週2回（各半日）参加</p> <p>・自立支援地域ケア会議参加（5回）</p>

<p>県内看護大学・看護専門学校の学生に訪問看護ステーションで実地体験してもらう</p>	<p>実施期間：7月～9月（参加者 17 名）</p>
<p>(2) プリセプター配置・現場指導事業</p>	
<p>①新人訪問看護師が職場になじめるように支援する</p>	<p>実施期間：4～10月 ・事業所数（13）</p>
<p>②医療処置やケアを学ぼうとする職員に現場指導の実施</p>	<p>・新人看護師採用数（24 人） ・プリセプター配置数（58 人）</p>
<p>(3) 訪問看護制度研修</p>	<p>実施期間：4～12月（対面とオンライン）</p>
<p>①感染管理・在宅療養児の看護研修の実施</p>	<p>・感染管理（6/25 受講者数 55 名）</p>
<p>②認定看護師・特定行為研修修了者の派遣による技術指導</p>	<p>・在宅療養児看護（12/3 受講者数 55 名）</p>
<p>(4) 多職種連携会議</p>	
<p>①訪問看護相互連携会議開催</p>	<p>①7/2（対面とオンライン）参加者 47 名</p>
<p>②多職種連携会議開催</p>	<p>②2/18（対面とオンライン）参加者 106 名</p>
<p>(5) 訪問看護管理者研修</p>	<p>・6/11 ステーションから報告（参加者 63 名）</p>
<p>奈良県の施策・医療安全・メンタルヘルス研修実施</p>	<p>・9/17 労務管理（受講者 54 名） ・9/17 働き方改革（受講者数 54 名）</p>
<p>(6) 地域教育事業</p>	<p>10 ステーションで実施</p>
<p>保健医療圏域ごとに教育ステーションを設け、地域の訪問看護ステーションを支援する</p>	<p>・全体会議（6 回） ・連携会議（15 回）・研修（5 回）</p>
<p>(7) 教育計画・プログラム策定事業</p>	<p>委員会開催（3 回）</p>
<p>訪問看護師用ラダーを作成</p>	<p>奈良県版クリニカルラダー試用：12 事業所（76 名）に実施</p>
<p>(8) 認定看護師派遣調整事業</p>	
<p>病院や訪問看護ステーションに勤務する認定看護師を派遣し、技術不足を支援</p>	<p>申請事業所数（15）派遣申請件数（9 件） 派遣数（7 件）</p>
<p>(9) 訪問看護経営相談事業</p>	
<p>①新規開設する訪問看護ステーションの支援</p>	<p>相談件数（161 件：面談 23 件 電話 138 件）</p>
<p>②既存の訪問看護ステーションの経営運営への相談</p>	
<p>(10) 訪問看護実態調査事業</p>	<p>委員会開催（2 回）</p>
<p>県内訪問看護ステーションへ実態調査を実施</p>	<p>調査実施：9/14～11/7（166 ヶ所） 回収数（124）回収率（74.7%）</p>
<p>4. 訪問看護推進研修事業</p>	
<p>1) 訪問看護人材育成講習会（奈良県受託事業）</p>	
<p>2) 精神科訪問看護研修（奈良県受託事業）</p>	<p>(1) 7/6～1/25（e ラーニング・集合研修 4 日間）24 名修了（25 名受講） 延べ 158 名受講</p>
<p>＜「精神科訪問看護基本療養費」算定の届出要件を満たす研修＞</p>	<p>(2) 7/29～8/6, 11/4～11/12 のうち各 3 日間 8 月：21 名受講 修了者 26 名 11 月：28 名受講 修了者 25 名</p>
<p>5. 災害時の看護支援体制</p>	<p>41 ページ参照</p>
<p>1) 災害支援ナース派遣調整合同訓練（日本看護協会）</p>	<p>法改正に伴う災害支援ナース養成カリキュラム変更 体制検討中のため中止</p>
<p>2) 看護協会災害支援ナース指導者養成研修</p>	<p>隔年開催のため未開催</p>
<p>3) 災害支援ナース活動ポケットマニュアル改定</p>	

4) 奈良県事業に協力	
(1) 国民保護法に基づく支援	
(2) 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく協力・支援	
(3) 災害対策基本法に基づく支援	
(4) 奈良県防災合同訓練に参加、協力	10月23日 橿原付近を震源とする最大震度7の地震が発生した想定で訓練 災害支援ナース57名(申込62名)災害看護委員8名協会より2名参加 被災地と避難所の訓練に参加、被災地訓練では救護活動、避難所訓練では他団体の医療スタッフとチームを作り訓練実施 31ページ参照
6. 災害看護委員会	
7. 新型コロナウイルス感染症支援協力(IHEAT)保健所派遣	保健所3箇所看護師等個別勤務調整9名延べ135日 保健所2箇所5名の派遣看護師紹介
8. 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材派遣調整事業(広域人材調整事業)	本事業に関する理解と今後の課題について検討する「講演・交流会」を開催 月日:2023年2月17日 場所:奈良県コンベンションセンター 参加者:80名
9. 医療従事者人材調整体制整備事業	応援派遣看護職員人材調整リストの作成 登録者:17名

V. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業(公益目的事業)

事業内容	
1. 日本看護協会事業に協力	
1) 日本看護協会への入会手続き	
2) 各種会議への出席	
(1) 通常総会・全国職能別交流集会	月日:6月8日 場所:千葉県幕張メッセ 出席:飯尾美和、代議員、荒田久美子、石川しのぶ、小森智江、堀畑佐知子、
(2) 代議員研修会	月日:5月20日 出席:代議員・予備代議員
(3) 日本看護協会理事会	月日:5月12日、6月8日、7月28日、9月30日、11月24日、2023年2月20日、出席:飯尾美和
(4) 法人会員会	月日:5月12日、7月29日、9月30日、11月25日、2023年2月21日 出席:飯尾美和
(5) 近畿ブロック看護協会会長・看護連盟会長合同会議	月日:10月17日18日 場所:ホテル日航プリンセス京都 出席:飯尾美和、西岡令子
(6) 全国職能委員長会	月日:9月8日(Web) 出席:福西恵子、細川喜美恵、青山弘子、吉田珠美 月日:2023年3月3日

- (7) 近畿地区職能集会
- (8) 地区別法人会員連絡会、地区別法人会員会
- ・地区別職能委員長会
 - ・都道府県看護協会支部役員等研修
- (9) 都道府県看護協会看護労働担当者会議
- (10) 都道府県看護協会政策責任者会議
- (11) 新会員情報管理情報交換会担当者会議
- (12) 訪問看護全国会議
- 1) 訪問看護連絡協議会全国会議
 - 2) 都道府県看護協会訪問看護担当者会議
- (13) 全国准看護師制度担当役員会議
- (14) 中央ナースセンター事業担当者会議
- (15) 都道府県ナースセンター相談員研修会
- (16) 都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会
- (17) 都道府県看護協会教育担当者会議
- (18) 都道府県看護協会広報担当役員会議
- (19) 都道府県看護協会事務担当者会議
- (20) 都道府県看護協会図書室担当者会議
- (21) 医療安全担当役員会議
- (22) 都道府県看護協会災害看護担当者会議
(災害支援ナース養成研修説明会)
- (23) 全国看護基礎教育担当役員会議
事例発表：看護師養成所の4年制化の実現に向けた
奈良県看護協会の取り組み
- (24) 近畿地区看護協会会長連絡協議会
- (25) 近畿地区看護協会事務担当者会議
- (26) 近畿地区看護協会人材確保定着担当者会議（大阪）

ベルサール東京日本橋
出席：福西恵子、細川喜美恵、井本英実、
吉田珠美
月日：10月18日
ホテル日航プリンス京都
出席：福西恵子、坂本信子、青山弘子、
吉田珠美
月日：10月17日、10月18日
場所：ホテル日航プリンス京都
担当県：京都府看護協会
出席：飯尾美和、西岡令子
コロナ禍のため中止
月日：5月19日（Web）
出席：西岡令子、荒田久美子、小田由美子
月日：9月16日（Web）
出席：飯尾美和・西岡令子
月日：8月24日（Web）
出席：飯尾美和、西岡令子、古幡美和、
西川和江
月日：11月18日（Web）
出席：飯尾美和、西岡令子、荒田久美子、
伊藤絹枝
月日：11月18日（Web）
出席：飯尾美和、西岡令子、荒田久美子、
伊藤絹枝
月日：コロナ禍のため中止
月日：5月20日（Web）
出席：西岡令子、小田由美子、秦美紀
月日：8月26日（Web）
出席：小田由美子、秦美紀
未開催
コロナ禍のため中止
月日：11月10日（Web）
出席：西岡令子、荒田久美子、小田由美子、
丸谷昭典
コロナ禍のため中止
月日：7月21日（Web）
出席：山口千幸
開催なし
月日：2023年3月29日（Web）
出席：飯尾美和、西岡令子、石川しのぶ、
荒田久美子、春木邦恵、丸谷昭典、
川合栄子、山崎早苗
月日：11月30日
場所：JNA ホール
出席：飯尾美和

コロナ禍のため中止
月日：2023年2月15日（Web）
出席：西岡令子、小田由美子、秦美紀

(27) 近畿地区看護協会教育担当者会議	月日：10月1日（Web） 出席：石川しのぶ
(28) 近畿地区看護協会災害担当者会議参加（和歌山県）	月日：2023年2月27日（Web） 出席：西岡令子・荒田久美子 中止 再掲
2. 災害支援ナース派遣調整合同訓練	
3. 日本看護協会会長賞	
4. 日本看護協会との連携と情報交換	
1) 看護業務の効率化先進事例アワード2022	月日：2023年1月19日（Web） 場所：奈良県看護研修センター

VI. 施設の貸与に関する事業（公益目的事業／法人管理に関する事業）

事業内容	
1. 施設運営に関する事業	
1) 看護研修センターの運営	95 ページ参照
2) ホームナースセンターの運営	96 ページ参照
3) 駐車場の管理と運営	・料金の管理 ・駐車券販売の管理 ・駐車場維持管理（草刈り：年2回） ・ゲートシステム維持管理

VII. その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業／共益事業／法人管理に関する事業）

事業内容	
1. 広報活動に関する事項	
1) 機関紙その他啓発出版物の刊行	
(1) ホームページの活用	
(2) 「看護なら」の作成配布（広報出版委員会）	年3回（7・11・3月）・総会特集号（6月） 5月12日号 飯尾美和
2) 奈良新聞への寄稿：看護の日に寄せて	年4回（6月・9月・12月・3月）
3) 県医師会広報誌 医師会新報への寄稿	
2. 渉外活動に関する事項	
1) 関係団体との連携強化	
(1) 公益財団法人日本訪問看護財団	
(2) 日本看護連盟通常総会	コロナ禍のため規模縮小開催のため不参加
(3) 看護学校等	・奈良県内看護学校に卒業生へのビデオメッセージDVDと看護協会入会案内送付 ・奈良県内看護学校の卒業生と入学生への祝辞・祝電送付、入学お祝いメッセージ送付 4月3日 出席：飯尾美和 2023年3月3日 出席：飯尾美和 2023年3月15日 出席：飯尾美和
奈良学園大学入学式	
病院協会看護専門学校卒業式	
奈良学園大学学位授与式	
2) 看護関連政策の実現	
(1) 奈良県への要望	月日：8月17日 出席：飯尾美和、春木邦恵、大村カヨ子、石川しのぶ、荒田久美子、西岡令子
①奈良県看護職員の早期離職防止・定着促進に向けた支援	
②新型コロナウイルスに対する訪問看護業務への支援	
③災害支援ナースの育成及び活動に対する支援	
3) 県主催事業への出席・協力	

- (1) 奈良県事業に協力
(2) 県主催事業の審議・会議等に委員として参加

①奈良県医療審議会

②奈良県医師会総会

③奈良県医療推進協議会役員会

④奈良県防災会議

⑤防災会議幹事会

⑥奈良県地域医療対策協議会

⑦奈良県地域医療構想調整会議

⑧奈良県医療安全推進協議会

⑨奈良県コロナウイルス感染症に関する連絡会

⑩奈良県肝炎対策推進協議会

⑪医療専門職能団体連携会議

⑫奈良県准看護師試験委員会

⑬配偶者等からの暴力被害者支援協議会

⑭奈良県男女共同参画県民会議

⑮奈良県介護実習・普及センター運営委員会

⑯奈良県要保護児童対策地域協議会

⑰奈良マラソン実行委員会

⑱奈良県病院看護管理者協議会(年2回)

⑲奈良県医療勤務環境改善支援センター運営協議会

⑳奈良県看護師がいきいきと働き続けるための実行策

月日：2023年3月24日

出席：飯尾美和

コロナ禍のため中止

月日：12月23日

出席：西岡令子

月日：2023年2月9日

出席：飯尾美和

月日：11月 書面開催 荒田久美子

月日：9月7日、12月19日、
2023年2月28日

出席：西岡令子

月日：2023年2月13日(Web)

出席：柏木三貴子

月日：2023年2月13日(Web)

出席：近藤貴代美

月日：2023年2月15日(Web)

出席：辻井里美

月日：2023年2月20日(Web)

出席：野村佳香

月日：2023年3月2日(Web)

出席：林田和美江

月日：11月16日(Web)

出席：石川しのぶ

毎月2～4回程度開催

出席：飯尾美和、西岡令子、石川しのぶ、
丸谷昭典、小田由美子

月日：12月22日(Web)

出席：西岡令子

要請なし

月日：2023年3月10日

出席：津森 栄

月日：6月16日、10月11日、11月28日

出席：石川しのぶ

月日：8月3日

出席：西岡令子

月日：2023年3月23日

出席：石川しのぶ(書面)

月日：12月27日

出席：荒田久美子

月日：6月7日、11月18日、12月11日
2023年3月3日

出席：大村カヨ子

月日：7月8日、2023年1月13日

出席：飯尾美和、春木邦恵、人村カヨ子、
荒田久美子、石川しのぶ、西岡令子

月日：9月26日、12月22日

担当：西岡令子

月日：6月29日、10月13日

<p>検討委員会 ②①奈良県母性衛生学会総会・理事会</p>	<p>出席：飯尾美和、小田由美子 月日：6月15日（書面）、2023年3月16日</p>
<p>同 学術集会</p>	<p>出席：石川しのぶ 月日：7月23日</p>
<p>②②都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議</p>	<p>出席：石川しのぶ 月日：7月27日（Web）</p>
<p>②③奈良県在宅医療推進会議</p>	<p>出席：石川しのぶ</p>
<p>②④奈良県運営適正化委員会</p>	<p>欠席 月日：4月19日、6月21日、8月4日（巡回）、2023年2月14日、3月22日（巡回）</p>
<p>②⑤奈良県介護保険審査委員総会・審査会</p>	<p>出席：荒田久美子 月日：6月15日</p>
<p>②⑥「奈良のお薬師さん大賞」審査有識者会議</p>	<p>出席：荒田久美子 月日：10月21日、12月17日（表彰式） 出席：飯尾美和 被表彰者：1名</p>
<p>②⑦在宅看護特別教育プログラム推進会議</p>	<p>月日：2023年3月20日</p>
<p>②⑧「面倒見のいい病院」指標検討会議</p>	<p>出席：伊藤絹枝・津森 栄 月日：11月19日、2023年2月10日</p>
<p>②⑨新型コロナウイルス感染症に関する会議（ワクチン会議含む。）</p>	<p>出席：津森 栄 月日：隔週木曜日（ワクチン会議は不定期）（Web）</p>
<p>③⑩近畿地域の医療機関における電波利用推進協議会</p>	<p>出席：飯尾美和、西岡令子、石川しのぶ、丸谷昭典、小田由美子 月日：8月8日（書面）</p>
<p>③⑪合同輸血委員会</p>	<p>出席：石川しのぶ</p>
<p>③⑫奈良県循環器病対策推進会議</p>	<p>月日：2023年1月30日（Web）</p>
<p>③⑬近畿プライマリーケア学会</p>	<p>出席：西岡令子</p>
<p>③⑭新型コロナウイルス感染症に対する対策・対応のためのマニュアル作成・運用 （体温測定、症状チェックリスト、館内入場者数の制限、研修再開時の人数制限、感染防止グッズの使用、フェイスシールド、アクリル板使用、館内使用後の清掃等）</p>	<p>月日：6月1日、8月5日、11月14日 出席：石川しのぶ 月日：11月20日 出席：西岡令子</p>
<p>4) 市町村事業・関係団体機関等への出席・協力</p>	
<p>(1) 市町村事業への出席・協力</p>	
<p>①桜井市介護保険運営協議会</p>	<p>月日：8月24日 出席：石川しのぶ</p>
<p>②桜井市包括支援センター設置支援センター法人選考委員会</p>	<p>開催なし</p>
<p>③奈良市高齢者保険福祉推進協議会</p>	<p>月日：11月14日</p>
<p>④奈良市地域包括支援センター運営協議会</p>	<p>出席：荒田久美子</p>
<p>⑤奈良市介護保険運営協議会</p>	<p>月日：5月19日、2023年3月（書面） 出席：荒田久美子</p>
<p>⑥奈良市介護保険運営協議会</p>	<p>月日：8月24日</p>

⑥大和高田市介護保険運営協議会	出席：石川しのぶ 月日：2023年1月26日
⑦橿原市介護保険運営協議	出席：西岡令子 月日：8月（書面）、2023年2月24日
⑧橿原市在宅医療・介護連携ケア会議	出席：荒田久美子
⑨橿原市介護保険事業計画策定委員会	再掲 月日：2023年2月25日
⑩飛鳥ハーフマラソン実行委員会	出席：西岡令子 月日：5月27日、2023年2月20日
(2) 関係団体の総会等への出席	出席：荒田久美子
①奈良県看護学教育協議会（連携調整委員会）	月日：9月2日、2023年2月22日(Web)
②奈良県健康づくり財団理事会	月日：2023年3月28日
③奈良県健康づくり財団評議員会	出席：飯尾美和 月日：6月24日
④奈良県済生会支部理事会	出席：春木邦恵 月日：5月27日、6月24日、9月29日、12月2日、2023年3月3日
⑤国保中央病院新改革プラン点検・評価委員会	出席：飯尾美和
⑥奈良市立看護専門学校関係者評価委員会	開催なし 月日：2023年3月30日
⑦奈良県福祉人材センター運営委員会	出席：飯尾美和 月日：7月13日
⑧奈良県訪問看護ステーション協議会	出席：飯尾美和
⑨奈良県医療事故調査等支援連絡協議会	コロナ禍のため中止
⑩奈良県市町村看護職員協議会総会	今年度は開催なし
⑪奈良県看護関係団体連携会議	コロナ禍のため中止 月日：2023年3月23日
⑫日本医療マシナリ学会奈良支部幹事会・学術集会	出席：飯尾美和、西岡令子 月日：2023年2月26日
⑬奈良県看護連盟通常総会	出席：石川しのぶ 月日：6月11日
⑭近畿ブロック看護管理者等政策セミナー	出席：飯尾美和 月日：12月4日
⑮奈良県介護福祉士会	出席：石川しのぶ、西岡令子
⑯奈良県歯科医師会互礼会	コロナ禍のため中止 月日：2023年1月5日
⑰奈良県保険医協会定期総会	出席：飯尾美和
⑱介護サービス苦情処理委員会	
⑲奈良県診療放射線技師会創立70周年記念式典	月日：11月19日
⑳N ネット20周年記念式典 （なら高齢者・障害権利擁護ネットワーク）	出席：飯尾美和 月日：11月13日
(3) 関係団体機関の事業等に後援団体として協力 ・奈良県診療放射線技師会の厚生労働省告示273号にかか る実技研修への協力	出席：飯尾美和 月日：7月30日、31日 1名 2023年2月25日、26日 2名
(4) 関係団体への協力支援	
3. 会員支援に関する事業	
1) 表彰（再掲）	

2) 見舞い・その他	
(1) 弔慰見舞い	6名
3) 身分擁護と福利厚生	
(1) 医療事故に関する情報提供と相談	
(2) 個人情報の適正管理	
4. 組織に関する事項	
1) 協会組織の強化	
(1) 会員数の増加の拡大	
① 会員サービスの充実	
・新会員情報管理体制（ナースシップ）による入会・継続手続き	
・会員 web サービス「NNA ダイレクト」の運用・拡大	
・ホームページによる会員との連携	
・新型コロナウイルス感染症に関する動画配信、日本看護協会相談窓口へのリンク	
・医療安全相談窓口の開設	
・個人情報保護法等関係法令の適正管理	
① 適正な取り扱いを遵守	
② パソコンセキュリティ管理	
・人会案内動画・リーフレットの配布	
② 地区支部活動の充実	33 ページ参照
③ 地区医師会との連携	
(2) 規約委員会	31 ページ参照
① 公益法人制度改革に対応した諸規程の見直し	
(3) 事務局	
① 業務分掌の見直しと整備	
② 職員研修の参加	
・奈良県公益法人研修会	
・公益法人運営に関する勉強会	月日：8月23日 出席：丸谷昭典 月日：11月9日（Web） 出席：丸谷昭典、古幡美和
2) 円滑な組織運営のための諸会議の開催	
(1) 諸会議の開催	
① 通常総会	月日：6月18日 場所：奈良県看護研修センター 大研修室 参加人数：本人出席 62名 委任状出席 7,570名 合計 7,632名
② 職能集会	25～28 ページ参照
③ 地区支部	33～37 ページ参照
④ 理事会	年 11 回開催
⑤ 業務執行理事会	年 11 回開催
⑥ 職能委員会	定例会
⑦ 常任委員会	定例会
⑧ 特別委員会	定例会
⑨ 新旧役員・委員の引継会議	6月18日
3) 推薦委員会	25 ページ参照
5. 奈良県看護研修センターの管理運営	
1) 施設管理に関すること	
(1) 施設整備・保守管理業者委託	

推薦委員会報告

委員長 横山 久美子

本委員会は、定款及び定款細則、内規に基づき、奈良県看護協会の運営及び事業活動を理解し、その任務を担い得る適正な人を推薦することを目的とした委員会で、5名の委員で構成し、11回の委員会を開催し、議論を進めた。

活動内容は、2023年度改選役員候補者（専務理事・常任理事を除く）及び常任委員会・特別委員会の委員候補者、2024年度日本看護協会通常総会の代議員・予備代議員候補者の公募・推薦である。以下、主な活動を示す。

活動内容

1. 2023年度に改選を要する役員・委員・代議員（任期满了者）の抽出と名簿作成
2. 任期满了者への次年度継続意思確認文書の作成と発送
3. 2023年度役員・委員・代議員・予備代議員の公募のホームページ掲載原稿の作成
4. 各施設等への推薦依頼書及び承諾書の作成と発送
5. 2023年度役員・委員候補者及び2024年度代議員・予備代議員候補者の名簿作成

選挙管理委員会報告

委員長 堀口 陽子

1. 活動目的

公益社団法人奈良県看護協会の役員及び推薦委員ならびに公益社団法人日本看護協会の代議員及び予備代議員の選任を公平かつ適正に選出する。

2. 活動状況

第1回 委員会（2022年6月19日）

- 1) 奈良県看護協会通常総会
第1号議案・第2号議案承認の確認

第2回 委員会（2023年2月）

- 1) 選挙管理委員長選出
- 2) 選挙管理委員会規程の共有

内容 （1）日程確認（日本看護協会通常総会、奈良県看護協会通常総会）

- （2）公募資料の作成（2023年度公益社団法人奈良県看護協会役員・委員並びに、
2024年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員）

職能委員会活動報告

保健師職能委員会

委員長 福西 恵子

本委員会は6名の委員で構成され、本年度の活動目的は以下の通りである。
保健師間のネットワークの強化を目指し、会員の拡大を図る。
行政と連携し、人材育成をする。

活動内容

長引くコロナ禍のため、県保健所、市町村保健センターに勤務する保健師は、感染症対応のため長時間の時間外勤務を強いられ、今年度は定例会を開催することができなかった。
厳しい現状の中で保健師職能集会には参加し、県外の情報等を得ることができた。情報を次年度に活用し、充実した活動にしたい。

その他

- ・2022年9月8日（木）第1回全国保健師職能委員長会（WEB） 13:30～16:30
- ・2022年10月18日（火）地区別職能委員長会 9:00～15:00 ホテル日航プリンス京都
- ・2023年3月3日（金）第2回全国保健師職能委員長会 10:00～16:00 ベルサール東京日本橋

助産師職能委員会

委員長 細川 喜美恵

定例会 9回

研修会 3回（うち1回は近畿地区助産師職能合同研修会）

本委員会は8名で構成され、本年度の活動目標は以下の通りである。

1. 子育て世代包括ケアシステムにおける看護機能の強化
2. 安全・安心・快適な出産環境の体制整備の推進

検討事項・活動内容

1. 定例会

- 1) 助産師実能力の維持・向上に向けた研修会の企画
- 2) 「母子のための地域包括ケア病棟」の普及のための取り組み
- 3) コロナ禍での出産・育児のサポートに向けた産科施設の情報共有及び情報の発信

2. 研修会

- 1) CLoCMiP®レベルⅢ認証研修（必須研修）

テーマ：「母体の感染」

「新生児のフィジカルアセスメント」

講師：地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター

産婦人科部長 佐道俊幸 氏

日時：2022年5月28日（土）13時00分～16時00分

参加者：26名

3. 周産期看護職者職能集会〔CLoCMiP®レベルⅢ認証研修（選択研修）〕

テーマ：「切れ目のない母子支援と多職種連携」

日 時：2022 年 11 月 12 日（土）13 時 00 分～16 時 00 分

参加者：34 名

1) 講演

テーマ：「切れ目のない母子支援」

講 師：大和高田市健康増進課 保健師 中野麗子 氏

2) 実践報告（3 施設）

(1) 「産後ケア事業開設に向けて」

大和高田市立病院 助産師 南和弥 氏

(2) 「奈良県立医科大学附属病院における母子のための地域包括ケアへの取り組み」

奈良県立医科大学附属病院 助産師 中上幸 氏

(3) 「切れ目のない母子支援と多職種連携」

心友助産院 助産師 西川佐稲子 氏

4. 近畿地区近畿地区助産師職能合同研修会（WEB）

〔CLoCMiP®レベルⅢ認証研修（選択研修）〕

テーマ：「助産師本来の役割を再確認しよう！」

日 時：2022 年 12 月 10 日（土）10 時 00 分～12 時 00 分

参加者：51 名（近畿地区助産師職能委員）

1) 「周産期を取り巻く国の動きと助産師への期待」

日本看護協会常任理事 井本寛子 氏

2) 「みなさんが思っている院内助産ってどんなもの？」

「妊産褥婦・新生児のために私たちが明日からできることは？」

グループワーク及び発表

5. その他

2022 年 7 月 27 日

都道府県看護協会 母子のための地域包括ケアシステム推進会議（WEB）

2022 年 9 月 8 日 第 1 回全国助産師職能委員長会（WEB）

2022 年 10 月 18 日 地区別職能委員長会（於 ホテル日航プリンセス京都）

2023 年 3 月 3 日 第 2 回全国助産師職能委員長会（於 ベルサール東京日本橋）

看護師職能 I 委員会

委員長 青山 弘子

本委員会は 9 名で構成され、今年度も奈良県看護協会の重点事業である地域包括ケアシステム推進・強化を踏まえ、今年度は以下の活動に取り組みました。

I 活動目的

1. 地域包括ケアシステム事業に関する調査結果から課題の発見と課題への取り組み
2. 看護師職能Ⅱ委員会との交流会を通じて地域包括ケアシステムに関する課題を共有し地域との連携を図る。

Ⅱ 活動内容

1. 定例会（10 回）
 - 1) 委員会の事業計画の達成に向けた取り組み
 - 2) 協会事業、地区支部活動の協力
 - 3) 他府県の活動状況に関する情報の収集と共有
 2. 看護師職能Ⅰに関連した会議への参加
 - 1) 2022 年度 第 1 回全国看護師職能委員長会ⅠWEB 出席いたしました。
- 2022 年度年 9 月 8 日（木）

2022 年度の看護師職能委員会 I 病院領域の近年の活動は以下 3 項目

①地域法包括ケア推進にむけて各病床機能で求められている看護師の役割発揮に関する
課題発見・意見集約

②病院における若手看護師の就職継続に関する情報収集・課題発見・意見集約

③病院における看護職に関する本会事業のトピックスに対するタイムリーな情報収集課
題発見・意見集約である。

2)9 月 第 1 回全国職能委員長会 病院領域、現況把握を実施。

3)10 月地区別看護職能委員会

2023 年 3 月第 2 全国職能委員長会 I 病院領域課題発見と予定されている。

3. 退院支援・退院調整リーダー養成研修を実施した。

2022 年 7 月 16 日 (土) 9:00~16:00

定員 70 名 応募数 127 名 受講数 108 名 修了数 104 名

(うち、訪問看護同行訪問実習 21 名)

III 今後の課題および取り組み

1. 病院機能ごとの看護連携強化を進める

高度医療から急性期、亜急性期、回復期、慢性期、療養期、在宅、終末期までの
継続看護の連携システム。退院支援・退院調整の知識の習得。

2. 病院と地域との連携

看護職の役割発揮を目指した仕組みづくり。多職種との連携体制。

3. 教育体制の充実

院内、施設内の教育ラダーの整備

看護師職能 II 委員会

委員長 吉田 珠美

定例会 8 回

看護師職能 I・II 合同交流会 1 回

本委員会は 7 名の委員で構成され、本年の活動の目的は以下の通りです。

1. 地域包括ケア推進を目的として看護管理者・看護師・他職種の連携強化と能力の強化

2. 看護職能 II 領域の看護職員教育

活動内容

1. 定例会

委員会の役割確認、委員の役割分担、情報交換

看護職能 I・II 合同交流会の企画立案・運営

次年度の活動方針、内容検討

コロナ禍のため毎月の開催はできなかったが、感染症に係る情報交換をすることで、地域の
差や施設の違いによって、対応策に違いがあることや共通する事項を確認することができ、
不安の解消に繋がった。

2. 看護師職能 I・II 合同交流会

テーマ： 地域包括ケア推進を目的として多職種で学ぶ (アドバンス・ケア・プランニング)

講 師：京都大学大学院医学研究科 准教授 竹之内沙弥香 氏

日 時：2023 年 1 月 28 日 (土) 13:00~16:00

参加者：53 施設 110 名 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員等の参加あり

今回はハイブリッド形式で開催したことから、多くの参加者あった。今後も多くの方が参加でき
るよう開催方法を工夫していきたい。

3. その他

・2022 年 9 月 8 日 (木) 第 1 回全国看護師職能委員長会 II 13:30~16:30

- ・2022 年 10 月 18 日（火）地区別職能委員長会Ⅱ 13:30～16:30
- ・2023 年 3 月 3 日（金）第 2 回全国看護師職能委員長会Ⅱ 13:30～16:30

常任委員会報告

看護労働環境改善推進委員会

委員長 井上 ゆかり

本委員会では、看護職の業務負担軽減を図り、県内で安心して働き続けられる職場環境を構築するための活動を行っている。委員は 7 名で構成され委員会は計 12 回、事例発表会は 1 回開催した。

【活動内容】

1) 2022 年度厚生労働省補助金事業である、日本看護協会「看護業務の効率化試行支援事業」へ参加

7 月 22 日：日本看護協会上記参加説明会（WEB）参加

2023 年 1 月 19 日：表彰式・支援事業事例発表会（WEB）参加

2) 「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」事例発表会

2022 年 11 月 22 日「看護師の業務負担軽減に資する看護業務改善」事例発表会を開催。業務改善の事例集を作成し、4 病院から好事例を発表した。また、日本看護協会と奈良県看護師がいきいきと働き続けるための実効策検討委員会からも参加を得た。

参加者：来館 3 施設 5 名 WEB 47 施設 99 名

教育企画・運営委員会

委員長 田中 奈都

教育企画・運営委員会 10 回

研修会運営 20 回

本委員会は、10 名の委員で構成され、活動目的に従って奈良県看護協会継続教育の方向性を提示し、先駆的な知識・技術を提供できるための支援プログラムの作成と評価、および、研修の運営を行った。

活動内容

1. 2022 年度の教育計画の評価

受講状況、受講者のアンケート結果より

2. 研修会運営

2022 年度は、引き続き、COVID-19 の影響で、募集人数を 75 名として予定されていた 20 研修を開催した。

3. 2023 年度の教育計画の検討

(1) 日本看護協会 継続教育部の活動内容についての情報共有

(2) 研修の評価方法（企画としての）項目の検討

(3) 2023 年度研修会計画 20 研修を企画した。

奈良県看護学会委員会

委員長 片山 美智代

本委員会は 8 名の委員で構成され、活動は、臨床・教育・地域のすべてのナースが同じ志をもつものとして集まる機会である奈良県看護学会の企画・運営を行い、活動目標とする看護研究および看護実践の成果を発表・共有し相互の研鑽を図ることである。

昨年に引き続き感染予防の観点から来場とオンライン参加を併用したハイフレックス形式で学会を開催した。

学会委員会定例会 8 回

活動内容・検討事項

1. 定例会 (2022 年)

第 1 回 6 月 21 日 (火) PM (委員長等決定・選考委員決定、今年度予定・変更内容の確認)

第 2 回 7 月 26 日 (火) (査読・選考) 応募 14 題 査読 不採択なし

第 3 回 8 月 23 日 (火) (再査読) 14 題 口演 14 題を選考し、プログラム検討

第 4 回 9 月 20 日 (火) PM (今年度 学会運営マニュアル確認)

第 5 回 10 月 25 日 (火) PM (次年学会テーマ決定、特別講演の企画・講師選考)

第 6 回 12 月 2 日 (金) PM 事前準備 (会場設営、WEB 配信調整)

第 7 回 12 月 3 日 (土) 奈良県看護学会 (運営・反省会)

(2023 年)

第 8 回 1 月 17 日 (火) PM (2022 年度奈良県看護学会の振り返り、次年度の学会計画)

2. 奈良県看護学会開催について

テーマ：頑張るナースを応援する NARA ～ワタシの心・やりがいをもる～

開催日：2022 年 12 月 3 日 土曜日 9：00 開場 16：05 閉会

会場：奈良県看護研修センター

演題数：口演発表 13 題 10：05～12：30

特別講演：13：30～15：30 「今なら（奈良）では働くナースへ贈るメッセージ」

講師：Nバク 先生（看護師管理職 YouTuber／業務改善・人材育成コンサルタント）

シンポジウム：15：40～16：00 「頑張るナースの看護を語ろう」

事前申込：66 名 会員 66 名 非会員 0 名

来館参加：23 名（口演発表者 13 名、会員 7 名、非会員 0 名、シンポジスト 3 名）

WEB 参加：45 名（講師 1 名、一般参加 44 名）

関係者：31 名（学会委員 8 名、広報委員 2 名、運営協力員 6 名、会長 1 名、理事 3 名、協会

職員 5 名 他：運営協力員 3 名（協会事務職）、運営協力業者 3 名）

参加総数：96 名

広報出版委員会

委員長 小川 由美

本委員会は、6 名の委員で構成され、奈良県看護協会機関紙「看護なら」の企画と編集、発行を行う。目標は、「会員のニーズに応え、重要かつ最新のコンテンツを提供する・読みやすさと目を引く紙面づくりに努める」である。

今年度も看護協会の委員会活動や奈良県内の医療・看護・介護に関する情報提供の繋がりを行った。

定例会は年 12 回、取材活動は 3 回、看護なら 97 号（2022 年 7 月）、看護なら 98 号（2022 年 11 月）、看護なら 99 号（2023 年 3 月）を発刊した。

業務委員会

委員長 山中 知子

本委員会は6名の委員で構成され、定例会を12回行った。

2020年より「看護現場での身体拘束に関する課題への取り組みを行い、安全に不要な抑制を減らす」ことを目的として活動している。身体拘束の実態や解除にむけた具体的な取り組みについてのアンケートや訪問調査を行い、その結果、身体拘束の倫理的視点における知識を深め、効果的なカンファレンスを行うことが重要であることが明らかとなった。そこで、他施設との情報共有を目的として、「身体拘束最小化に向けた取り組みについて～その抑制は本当に必要ですか～」をテーマに交流会を行った。交流会後にアンケートの分析と考察を行い、看護ならに掲載した。

医療安全検討委員会

委員長 宮城 誠

本委員会は、医療安全に携わっている委員6名から構成され、定例委員会は7回、演習1回開催した。

活動内容

1. 医療安全相談窓口の運用

2020年に医療安全に関する相談システムを構築し、運用開始後6件の相談があったが今年度の相談はなかった。

2. 医療安全管理者養成研修 集合研修の演習企画運営

日本看護協会主催の研修において、集合研修の演習企画、運営を行い、66名の受講者があった。医療事故でご自身の子供を亡くし、レセプト開示など医療制度を変えるために活動している勝村久司氏を招き、昨年同様に講義・演習を行った。

3. ホームページの更新

PMDA、日本医療機能評価機構等の安全情報（No. 185～194）を随時更新している。

規約委員会

委員長 春木 邦恵

本委員会は7名の委員で構成され、公益社団法人に適した定款・諸規程の見直しやその他必要な規程の制定等について検討している。

2022年度は、委員会を9回開催し、その主なものとしては、定款細則、日本看護協会代議員及び予備代議員の選出に関する内規、職員就業規則、給与支給規則及び認定看護管理者教育運営委員会規程の一部改正並びに育児・介護休業規程及び准看護師委員会規程の制定であり、公益社団法人としてふさわしい内容とすることとし、理事会に上程するなどした。

災害看護委員会

委員長 笹田 泉樹

本委員会は委員9名で構成し、災害支援ナースの育成と登録促進をし、県内及び他都道府県において災害発生し派遣要請がある際、災害支援ナース派遣と看護活動支援活動できる体制整備と、自施設の災害対策の推進に努めることを目的としている

活動内容

1. 委員会定例会 10 回（研修運営を含む）
 - ① 災害支援ナース受援マニュアルの検討
 - ② 災害支援ナース派遣のための装備品整備
 - ③ 研修企画立案
2. 災害看護学習支援システム（e-learning）の構築
 - ・ 災害支援ナースのスキルアップのための学習システムの作成と活用の協力（奈良学園大学 教授 堀内美由紀 氏と協同）
3. 災害支援ナースの育成と登録促進
 - ・ 奈良県防災総合訓練 2022 年 10 月 23 日 参加者 49 名 橿原運動公園
 - ・ 『災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎的知識～』
JNA 収録 DVD 研修 2022 年 11 月 24 日・11 月 25 日 受講者 25 名
 - ・ 『災害支援ナーススキルアップ研修』 2023 年 2 月 8 日 受講者 26 名
「災害支援ナースに必要な心理支援の知識・技術」
講師：緑川大介氏（精神科医師、DPAT インストラクター、大阪府 DPAT 統括者）
災害看護委員

特別委員会報告

認定看護管理者教育運営委員会

委員長 柏田 真由

定例会 4 回

構成員 5 名

活動目的

認定看護管理者教育課程ファーストレベルおよびセカンドレベルにおける教育課程の編成・企画・運営・評価に参加し、科目修了証明・教育課程修了証明に関する審議を行う。

活動内容

1. 2022 年度認定看護管理者教育課程ファーストレベルについて
 - ・ 受講者決定 62 名、修了判定 58 名
 - ・ 次年度運営方針と講師の検討
2. 2022 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルについて
 - ・ 受講者決定 28 名、修了判定 28 名
3. 2023 年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル
 - ・ 受講者選考

倫理審査委員会

委員長 大村 カヨ子

倫理審査委員会 10 回

本委員会は、6 名の委員会で構成され、所属施設に倫理審査委員会を持たない奈良県看護協会会員及び当協会の委員会等が実施する看護研究及び調査について 6 件と再審査 3 件の申請があり、基準に基づき倫理審査を行った。

准看護師スキルアップ支援チーム

委員長 宇野 千鶴子

定例会開催：2022年5月13日・7月15日・9月17日・10月14日・12月9日

2023年3月10日（2022年8月5日流会） 6回開催

委員 構成：6名

2022年9月17日（土）日本看護協会の示す『看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド』の周知と進学支援に向けた情報提供、情報交換を目的とした交流会の企画、運営を行った。参加者は准看護師2名、管理者3名、看護師1名。

ガイドラインについての講演は奈良県看護協会飯尾会長に依頼し、交流会のテーマは『今、自分らしく仕事が出来ますか？』とし、進学を目指す准看護師だけでなく支援して頂く看護管理者の方への参加もお願いした。

准看護師スキルアップ支援チーム規定の目的に『准看護師の諸問題について検討し、准看護師の抱えている課題やニーズを把握して改善策の方向性を見出すとともに、准看護師の看護の質の向上を図るため准看護師のスキルアップと進学を支援することを目的とする』とある。

2019年度に行った准看護師へのアンケートの見直しを行った

少子高齢化が進み、看護師不足と言われるなかで准看護師の方たちの働きやすい職場環境を整えることの重要性を感じた。准看護師スキルアップチームの活動内容に関する疑問、限界を感じる事についての私感を11月11日奈良県看護協会の理事会へ進言し、12月9日の理事会で看護管理者をメンバーに交えて構成する『准看護師委員会』を設置する規定内容の説明があり挙手により承認された。今後は進学支援だけでなく准看護師制度への取り組みも行い、日本看護協会への提言に向けて活動していきたい。

地区支部活動報告

奈良地区支部

奈良地区支部長 林田 和美江

1. 活動目的

- 1) リモート会議で情報共有を図る
- 2) 支部内の医療施設等のコロナ対策の現状を把握し、対応する
- 3) 関係機関との連携強化

2. 活動状況

- 1) 地区支部委員会 5回開催
- 2) 地区支部交流会開催

テーマ：次年度の活動に向けた意見交換と交流

日時：2023年2月2日（木） 14時30分～16時30分

参加：WEB参加 14施設 14名

当初はハイブリッド交流会を予定していたが、コロナ禍でもあり WEB での開催となった。テーマは、新型コロナウイルス感染症に関連した事、看多機やタスクシフト／タスクシェアなど、各施設の課題や取り組みについてグループワークを実施し発表した。

看護学校からは、実習の受け入れや看護教育における課題について、また自己肯定感と承認について討論し、まずは自らが取り組んでいこうとまとめた。

コロナ禍ではどの施設も感染対応に追われていたが、感染防止などの教育が充実したことや人材活用、多職種連携が強化されるなどポジティブな意見もあり継続して連携できるように努める必要がある。また、看護職員の処遇改善や感染症の入院や受診調整など今後の課題についても検討した。他施設の取り組みが見えないことから情報共有が必要であるとの意見があった。

今回の交流会では、病院だけではなく、看護学校や訪問看護、老人施設や行政など各分野からの参加となり有意義な交流会となった。今後も奈良地区支部として交流会など活動を通し情報発信を行うこと、更なる連携を強化することが必要である。

東和地区支部

東和地区支部長 柏木 三貴子

1. 活動目的

- 1) 地区支部における看護職・介護職のネットワークの充実を図る。
- 2) 地域住民へ看護の専門性を活かした健康支援を行い、地域交流の機会とする。

2. 活動状況

- 1) 地区支部委員会（毎月第4木曜日開催 全11回）14時30分～16時30分
- 2) 天理医療大学「まちの保健室」に奈良県看護協会共催として地区支部役員6人参加
日 時：2022年10月15日（土）10時～14時
場 所：天理駅北団体待合所・天理駅南団体待合所
内 容：看護協会は「健康相談」のブースを担当。来場された70人に血圧測定を行い血圧測定板に年齢別のカラーシールで見える化して、食事や運動等、健康相談の実施

地域住民の健康増進に寄与するための活動、健康手帳や看護の日グッズを配布して看護協会を周知することができたと考える。若いパパ・ママさんの来場も多く、次年度は骨粗鬆症の予防に加え、がん検診啓発運動ができたらと考える。

3) 看護職・介護職交流会

テーマ：高齢患者の誤嚥性肺炎の予防

～“食べること”について困っていることはありませんか？みんなで解決しましょう！～

日 時：2023年1月26日（木）14時～16時

場 所：奈良県看護研修センター 大研修室

講 師：南奈良総合医療センター 摂食・嚥下障害認定看護師 佐谷直美氏

参加者：看護師13名・介護職6名

嚥下の基礎知識についての講義後、トロミの付き方や味が増粘剤による違いを体感して上手なトロミのつけ方、またポジショニングのコツについて演習した。日頃困っていることの質問が多くあり、アンケートでは参加者全員が「今後、活用できる」との回答であった。コロナ禍の研修で対面での意見交換ができなかったが、介護職からはこれまで学ぶ機会がなく今回参加できたことに感謝され、充実した交流会となった。

西和地区支部

西和地区支部長 近藤 貴代美

1. 活動目的

- 1) 西和地区における看一看護連携の強化
- 2) 西和地区内における看護職が顔の見える関係性を構築し、連携を強化する

2. 活動状況

- 1) 西和地区 18 病院の看護管理者を対象とした意見交換ができる環境を提供する

テーマ：地域連携に関する自施設の現状と要望

- ①自施設の病院で抱えている問題と背景
- ②支部内でお互いに協力できること

開催日：2022 年 9 月 3 日（土） 9：00～13：00

場所：奈良県看護研修センター 3 階大研修室

交流会：各地区でグループに分かれて意見交換を行う（3 グループ）

- ・大和郡山市 6 病院：やまと精神医療センター、奈良厚生会病院、藤村病院、JCHO 大和郡山病院、郡山青藍病院、田北病院
- ・生駒市 6 病院：近畿大学奈良病院、阪奈中央病院、白庭病院、東生駒病院、生駒市立病院、倉病院
- ・三郷町・上牧町・王寺町 6 病院：奈良県西和医療センター、ハートランドしぎさん、西大和リハビリテーション病院、奈良友誼会病院、服部記念病院、恵王病院

参加者：14 病院の看護部長 14 名、師長 3 名の 17 名の参加

この交流会は、西和地区の連携強化を活動目的として、看護職の顔の見える関係性の構築をねらいとした。今回の交流会のテーマを具体的な内容にするため、「平常時からの連携強化ができる連絡方法」「自施設の課題と西和地区支部に対する要望」について 18 病院の看護部長を対象に、事前アンケート調査を行った。結果、「顔の見える連携、交流、研修、情報交換」等について期待する声が多く寄せられた。

中和地区支部

中和地区支部長 野村 佳香

1. 活動目的

- 1) 地区支部における看護職の交流と相互理解の機会を設け、施設間の連携を強化する。
- 2) 各々の施設における看護職機能の強化とともにシームレスな質の高い看護を提供する。

2. 活動状況

- 1) 地区支部委員会 毎月 第 4 金曜日開催 全 12 回（13 時 30 分～17 時）

- 2) 地区支部看護職交流会

テーマ：～「食えること」を支える～

内容：「食えることを支えるための看護」を目標に、実践力を高めるための演習を通して、各々の施設での活用と看護職能力の向上を図る。

具体的内容：摂食嚥下障害のメカニズムの理解（座学）、口腔ケア・食事介助方法や増粘剤使用方法の習得（演習）

日時：2022 年 11 月 26 日（土） 14 時～16 時

講師：摂食・嚥下障害看護認定看護師 長谷川陽子氏（奈良県立医科大学附属病院）

アシスタント看護師 山浦渚氏（奈良県立医科大学附属病院）
参加者：4施設 8名

3) 地区支部看護職連携会議

テーマ：～忠犬ハチ公は、なぜ待ち続けて死んだのか～

内容：患者との対話を通してケアのあり方を模索し、対人支援者として聴くこと・話すことの意味を深掘りし、看護の在り方や死生観についてディスカッションし振り返る機会とする。また、各医療機関の看護職が、ひとつのテーマに沿ってディスカッションを通して相互理解と各々の立場で情報を共有し施設間連携の強化を図る。

日時：年2回 2022年9月30日・2023年2月24日 14時～16時

（2022年9月30日は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止）

講師：佐藤泰子氏（京都大学大学院 人間環境学研究所 人間社会論講座）

参加者：8施設 17名

南和地区支部

南和地区支部長 辻井 里美

1. 活動目的

- 1) 高齢化が進む南和地区において、医療介護の連携強化と医療介護の機能強化をめざす
- 2) 南奈良総合医療センターで開始される健康フェスティバルに参加し、地域住民の看護への関心を高める

2. 活動状況

- 1) 地区支部委員会 計8回 開催

- 2) 南和地区支部交流会

ねらい：介護保険施設での看取りに対する意識づくりを行う

テーマ「施設での看取りケア～最後はここを支えるために～」

日時：2022年7月15日（金曜日）17：40～19：40（ZOOM開催）

講師：小森智江氏（介護老人保健施設 でいあほうむ吉野 副施設長）

対象：看護師、介護職 7施設 31名

3) 出張研修

- ① 社会福祉法人 総合施設 美吉野園

テーマ「施設におけるフィジカルアセスメント～看護・介護における観察力・アセスメント力強化にむけて～」

日時：2022年8月31日（水曜日）16：00～17：00

講師：南奈良総合医療センター 救急看護認定看護師 福塚一代氏

対象：看護師・介護職員・理学療法士・作業療法士他 30人

- ② 五條市立養護老人ホーム 花咲寮

テーマ 「認知症のある利用者へのアプローチ」

日時：2022年9月16日（金曜日）17：30～18：30

講師：南奈良総合医療センター 認知症看護認定看護師 西 政治氏

対象：看護師・介護職員・行政職員他 15人

- ③ 吉野三町村老人福祉施設 さくら苑

テーマ 「安全な食事援助とポジショニング」

日時：2022年11月11日（金曜日）16：00～17：00

講師：南奈良総合医療センター 摂食・嚥下障害看護認定看護師 佐谷直美氏

対象：看護師・介護職員 16人

- ④ 社会福祉法人 正和会 まきの苑

テーマ 「施設における感染予防対策について」 ZOOM 開催

日時：2022 年 11 月 25 日（金曜日）15：00～16：30

講師：南奈良総合医療センター 感染管理認定看護師 畠山国頼氏

対象：看護師・介護職員他 施設内オンラインで 45 人参加

4) 南奈良総合医療センター主催の健康フェスティバル

新型コロナウイルス感染症の第 8 波の影響にて開催中止のため参加できず